

沖縄県新規就農相談会

沖縄県新規就農相談センターでは、年に2回
「新規就農相談会」を開催しています。

開催時期

第1回・・・8月(予定)

第2回・・・12月(予定)

※開催月は予定より前後する場合がございます。

開催日程の詳細や開催地については事前に公社ホームページ及びポスターにて告知いたします。

対象

農業に興味のある方は
どなたでもご参加いただけます。

料金

入場無料、服装自由
事前申込不要

内容

- 農業関係法人による就職希望者を対象とした**就職説明会**。
- 農業関係機関が一堂に会し、技術習得のための**研修先紹介**や**学校案内**。
- 独立就農するための支援制度や農地についての相談、農業の始めかたが分からない方への**総合相談**。
- 実際に農業を始めた方の**体験発表**。

新規就農相談会に関するお問い合わせは

新規就農相談センターまで

TEL:(098)882-6801

TEL:(098)889-6027

沖縄県農業振興公社

検索

<http://www.onk.or.jp/>

新規就農相談会の様子



来場された方の声

気軽に参加することができるのでよかったです。

農業関係の法人への就職を考えていたので、農業法人の就職説明会に参加しました。

新規就農に関する支援や手続きについてなど、有益な情報を得ることができました。

農業に興味はあったが、始め方が分からなかったなので、いいきっかけづくりになりました。

農業を始めたばかりの方の体験発表を聞いて、農業に対する強く元気な考えに、すごく励まされました。

農地の借入れについて理解することができました。

新規就農事例

牛がくれた人生

八重瀬町
柴田 奈純さん



私は現在、農業生産法人の従業員として八重瀬町の牛舎で約30頭の牛の管理を1人で任されています。出身地は愛知県で、地元の大学を卒業後に島暮らしに憧れ、鹿児島県の徳之島での生活を始めました。そこで私は闘牛と出会い、その深く美しい闘牛の姿に感動したことが、畜産の道へと進むきっかけとなりました。

猛勉強の末「家畜人工授精師」という国家資格を取得し、知り合った農家の方から情報を得て現在の法人へと就職することができました。非農家出身で農業関係の学校に通ったこともないため、はじめのうちは分からないことも多く苦勞しましたが、少しでも知識・技術を身につけるために参考書などで“自主的に学ぶ”努力をし、また積極的に周りに関わることで、人の輪を広げることができ、いろいろと学ぶことができました。これからも私はどんなことにも誠実に取り組み、情熱を絶やすことなく、いつでも仕事を楽しむ心の余裕を持ち続け、これからも頑張っていきます。

就農スタイル: **雇用就農**

メリット: 従業員として働き、安定した収入を得られる。

デメリット: 自分のやりたい作業や労働時間が制限される。

こんな人にオススメ! 経営基盤はないが、農業に携わりながら安定した収入を得たい方。

パリ(畑)に生きる

宮古島市
宮平 浩幸さん



私は、幼い頃から祖父の農作業の手伝いをしているうちに農業に興味を抱くようになり、農林高校、園芸専門学校へと進学しました。卒業後は21歳の時に農業法人に就職し、栽培管理から販売、農業経営やマーケティング等、実践的な技術を1年間学びました。

独立を目指したのは、雇用先の社長から「これまで積み上げてきた成果を活かし、独立就農することが、儲かる農業を実現する近道である」と助言を受けたことがきっかけでした。資金は両親からの支援やこれまでの預金でまかない、農地は祖父からの賃貸や知人からの紹介で確保しました。独立後は栽培管理から出荷計画まで自分で行ない、技術の向上と安定した所得を確保するために日々勉強しています。自分で考えて仕事ができる農業にやりがいを感じ、充実した毎日を過ごしています。

これから就農を目指す方は、家族の理解のもと基礎をしっかりと踏まえて就農してほしいと思います。

就農スタイル: **雇用就農** から **独立就農**

メリット: 安定した収入を得ながら技術習得ができる。

デメリット: 雇用のうちは作業内容が制限される。

こんな人にオススメ! 将来的には独立したいが、農業未経験で技術面や資金面に不安のある方。

「ゼロ」からのものづくりを

南城市
友利 克也さん



農業を始める前の私は貿易会社で働いていました。しかし、すでに完成された製品や生産物をただ販売するだけではなく、次第に自分で商品作りをしたいと考えるようになり、妻に相談し退職を決意しました。退職後に友人からのアドバイスもあり、「農業」という考えに辿り着きました。野菜を育てるためには土作りから行なうという、まさに「ゼロ」から作り上げていくところに魅力を感じたからです。

農業について全くの素人であった私はまず、沖縄県新規就農相談センターで農業をどのように始めたらいいかを相談し、農業法人での農業体験や研修、農業大学の短期養成科での研修を経て現在では、オクラやいんげんの栽培を主に独立した農業経営を行なっています。農業を実際に始めてみると、日々の栽培管理や、収穫、出荷などで時間に追われることもあり苦勞しますが、農業を通して出会った先輩方や仲間達と互いに助け合い、刺激し合い、切磋琢磨しながら成長していける農業という職業に満足しています。

就農スタイル: **独立就農**

メリット: 自分の思い描く農業を実践することができる。

デメリット: 農地や技術の習得に苦勞する。収入が不安定。

こんな人にオススメ! 農業技術と知識を身につけ、経営者としての責任感や管理能力に自信のある方。